学校番号	319

令和３年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育男子（柔道）	単位数	１単位	年次	１年次（必）
使用教科書	「現代高等保健体育」　（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・武道に主体的に取り組むこと。
・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にすること。
・役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとすること。
・相手の多様な動きに応じた基本動作から、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防を展開すること

２　学習の到達目標

・健康・安全に留意して運動をする態度を身につけ運動を習慣化する

・生涯スポーツを達成するために健康とスポーツの関係性について学び適切に判断する能力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	柔道の楽しさを積極的に味わい、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。 自己の責任を果たし、健康、安全を確保して自主的に取り組もうとしている	柔道の運動課題に応じた練習などを工夫することができる。 班活動などを通じて、適切な練習計画を立案し、技能の改善に活かせるようにする。	柔道の特性に応じた運動の技能を身につけ、相手の動きに対応した攻防を展開できる。	柔道の特性や伝統的な考え方、柔道を安全に行うための方法を理解している。
評価方法	受講態度の観察	受講態度の観察	実技テスト 技能観察	ワークプリント 受講態度の観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	体つくり、導入	・オリエンテーション 授業の流れ 授業における注意事項 安全の確保について ・体つくり 身体をほぐす運動 体力を高める運動 ・導入 道着の着かた 礼法について 受身の基本	○	○	○	○	a:柔道についての理解を深め、相手を尊重し、安全を確保した行動を自主的にとろうとしている。 b: 自己の課題に応じた取り組みをしている。 c: 柔道の礼法、受身などの基本動作ができる。 d: 伝統的な考え方や柔道を安全に行うための方法を理解している。	受講態度の観察 実技テスト 試合状況観察 ワークプリント
2学期	受身、抑え技	・受身 後ろ受身 横受身 前回り受身 ・抑え技 基本動作	○	○	○	○	a:柔道の楽しさを味わい、相手を尊重し、安全を確保した行動をとり、積極的に取り組もうとしている。 b: 課題の達成状況に応じた取り組み方をしている。 c: 身に付けた基本動作を正確におこなうことができる。 d: 伝統的な考え方や柔道を安全に行うための方法を理解している。	受講態度の観察 実技テスト 試合状況観察 ワークプリント
3学期	受身、抑え技	・受身 対人での受身 ・抑え技 技の連携 試合	○	○	○	○	a:練習や試合で仲間と切磋琢磨しようとしている。 b: 自分に合った技を選び、得意技として使えるよう練習方法を選択している。 c: 身に付けた技を試合で使い、相手との攻防が展開できる。 d: 伝統的な考え方や柔道を安全に行うための方法を理解している。	受講態度の観察 実技テスト 試合状況観察 ワークプリント

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。